

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
きっずデイゆめ		令和 8年 1月 15日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	中高生が多い日は狭く感じるが声を掛け合いスペースを作ってくれる。	今後も声掛けを継続し、利用児童様自らが考えて行動出来るようにして行く。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	基本人員は満たしているが、体調不良等の時の人員不足が不安。急な欠席がでると人員不足になる可能性がある。	継続して、求人募集をおこなって行く。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	50%	50%	玄関(外)に手摺があると良い。2階の学習室は扉に掲示している。	玄関外の手すりに関しては今後検討課題
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	100%	0%	毎日洗濯や掃除、空気清浄機や加湿器、送迎車の車内などの清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	83%	17%	学習が集中出来ない時は2階の学習室を使用したり、熱が出たご利用児童を一時的に隔離出来るようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）を実施しているか。	50%	50%	目標設定をミーティング時に職員間で話し合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	83%	17%	自己評価結果をミーティング時に確認し、保護者様の意見やどちらともいえない所を明確にしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に活かしているか。	83%	17%	昼礼や申し送りノートなどを活用している。報告・連絡・相談の徹底をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17%	83%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施しているか。	83%	17%	外部研修や資格の取得などを情報共有している。越谷・松伏放課後等デイサービス連絡会や埼玉県放課後等デイサービス連絡会に加入しているので、外部研修など情報が入ってくる。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83%	17%	レクリエーションカレンダーを配布して月の製作やレクリエーションや活動などを公表している。又、HUGシステムにて活動内容を保護者様が随時確認出来るようになっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を構築しているか。	83%	17%	児童発達支援管理責任者を中心に半年に1回面談をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者の承認を得ているか。	100%	0%	個別支援計画の作成は、計画の原案段階で支援会議をし、職員から意見交換をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	事務所に保管されているので鍵を開ければ職員で共有できる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っているか。	83%	17%	HUGシステムでご利用者様の様子や写真などを記録している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに基づいて作成されているか。	83%	17%	利用している児童の気持ちやご家族の意向だけでなく、相談支援事業所からいただく計画書と併せた個別支援計画書を作成している。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	スタッフミーティング時に意見交換しながら決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	外出レクや季節に合ったプログラムを意見交換して決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか。	83%	17%	集団活動では苦手なご利用者様も参加出来るように職員と一緒に参加し支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援内容を共有しているか。	83%	17%	昼礼や申し送りノートなどを活用し打合せをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援内容を共有しているか。	50%	50%	全員で出来る日は少ないので申し送りノートに書いて次の日の昼礼で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に取り組んでいるか。	100%	0%	HUGシステムでご利用者様の様子や写真などを記録し、職員で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っているか。	83%	17%	モニタリング前に送迎時等の時間を使っての情報を聞き、個別支援計画書の作成をしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数実施しているか。	50%	50%	季節の製作や他事業所とのレクリエーション、地域交流としての町役場や商店にハロウィンの仮装をして訪問している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促しているか。	50%	50%	余暇の過ごし方やおやつ選択など複数、自己選択ができるように支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に参加しているか。	100%	0%	管理者・児童発達支援管理責任者・そのこどもをよく理解している職員で出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育所等と連携しているか。	50%	50%	保護者様や協力医療機関と連携を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の共有等）を行っているか。	100%	0%	年間計画や下校時間がHPに載っている学校は問題ないが、載っていない学校は保護者様から確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援センター等と連携しているか。	50%	50%	現時点では、先施設から移行してくるご利用児童様が居ない。	今後利用がある場合は連携を取っていききたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%	相談支援事業所を通じての情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	17%	83%	児童発達支援事業所(きつずデイ松伏)から受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	他事業所と運動会やサッカー大会に参加しているが、学童保育等の地域交流は行っていません。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	参加出来ていない。	地域に参加できる機会がなく、今後も参加できるように働き掛けていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83%	17%	送迎時に保護者様と情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	家族全員が参加できる行事やレクを考えたい。	保護者会・親子レクリエーションの開催
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	67%	33%	ご利用契約時に読み合わせをし、丁寧に説明している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	50%	50%	保護者様から連絡帳や送迎時に相談があると管理者に報告をし対応している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	50%	50%	モニタリングを実施し、個別支援計画書を読み合わせ署名捺印をいただいている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	50%	50%	電話や送迎時に相談があると、その場で解決できない悩みなら改めて面談や助言をしている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等による	0%	100%	保護者会など保護者同士が交流する機会を設けたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	67%	33%	管理者・児童発達支援管理責任者に報告をし迅速な対応をする。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによる	83%	17%	通信を発行したりSNS等で発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報は事務室に置いてあり鍵がかかっている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	文字でわかりやすい言葉をつかい伝えている。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	町役場や商店にハロウィンの仮装をして歩いてお菓子をもらいに行く。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、	67%	33%	訓練・研修・委員会を開き実施し、記録に残している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備	67%	33%	研修・訓練を年2回実施し記録に残している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認	100%	0%	てんかん発作対応マニュアルの読み合わせや個人差があるので情報を集めて対応する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応	100%	0%	受診し食物アレルギーを確認して頂き、アレルギーのあるご利用者様には医師の情報を共有させてもらい、最新の注意をしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な	83%	17%	研修・訓練・委員会を開き記録を残している。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安	50%	50%	ご契約時に説明し、送迎時に伝えている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策につ	100%	0%	ヒヤリハットをその日に書き昼寝で情報共有している。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	100%	0%	虐待防止委員会を実施し職員に周知している。虐待の防止のための研修をし記録に残している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	100%	0%	身体拘束等の適正化検討委員会を実施し職員に周知している。身体拘束等の適正化のための研修をし記録に残している。	